

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20151517001301	科目番号 / Subject code	15170013
科目ナンバリングコード / Numbering Code	ECMC 11301_038		
授業科目名 / Subject	経済数学入門 / Introduction to Mathematics for Economics		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤田 渉 / Fujita Wataru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤田 渉 / Fujita Wataru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	藤田 渉 / Fujita Wataru, 丸山 幸宏 / Maruyama Yukihiro		
科目分類 / Class type	学部モジュール科目, 自由科目 (教養・専門)		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 本館 2 2 (講義室)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	wfujita@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	経済学部東南アジア研究所204号室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日12:00 ~ 12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	経済学や経営学で用いられる共通言語、また分析道具としての数学の基礎の修得。		
授業到達目標/Goal	関数および微分の基礎的概念や計算方法について理解するとともに、簡単な経済的問題への応用を可能とすることを目標として掲げる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	テキストに沿って講義形式で行う。		
授業内容/Class outline/Con	主として微分法およびその応用 (最適化問題) について講義を行う。なお科目の性格上、各自による復習 (練習問題を使った反復練習など) が必須である。		
キーワード/Key word	経済数学、関数、微分、最適化		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 藤田渉・福澤勝彦・秋本耕二・中村博和 (編) 『経済数学』 勁草書房、2000年。 参考書: A. C. チャン・K. ウェインライト (著) (小田正雄・高森寛・森崎初男・森平爽一郎 (訳)) 『現代経済学の数学基礎 (上)』 シーエーピー出版、2010年。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	中間試験50%、期末試験50%とする。ただし、いずれかの試験を受験しなかった場合は失格とする。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	特になし (高校における数学 以上の基礎があれば十分に着手可能である)。		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション (本講義の目的、なぜ「経済学部」で「数学」を学習するのか?) 基本的事項 (利子計算)		
第2回	基本的事項 (現在価値計算)		
第3回	基本的事項 (指数関数)		
第4回	基本的事項 (対数関数)		
第5回	1変数関数の微分 (1変数関数の微分)		
第6回	1変数関数の微分 (導関数を求める公式)		
第7回	1変数関数の微分 (合成関数と逆関数の導関数、指数関数と対数関数の微分)		
第8回	1変数関数の微分 (高階の導関数、関数の極値)		
第9回	中間総括 (中間試験) など		
第10回	多変数関数の微分 (多変数関数、偏微分)		
第11回	多変数関数の微分 (全微分、陰関数の微分)		
第12回	多変数関数の微分 (2変数関数の合成関数の微分)		
第13回	最適化問題 (制約条件なし)		
第14回	最適化問題 (制約条件あり)		
第15回	総括		
第16回	定期試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20151517001302	科目番号 / Subject code	15170013
科目ナンバリングコード / Numbering Code	ECMC 11301_038		
授業科目名 / Subject	経済数学入門 / Introduction to Mathematics for Economics		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	丸山 幸宏 / Maruyama Yukihiro		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	丸山 幸宏 / Maruyama Yukihiro		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	丸山 幸宏 / Maruyama Yukihiro, 藤田 渉 / Fujita Wataru		
科目分類 / Class type	学部モジュール科目, 自由科目(教養・専門)		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済]本館12(講義室)		
対象学生(クラス等) / Object Student	1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	maruyama@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	経済学部本館5階530号室		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜日12:00 ~ 12:50		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	経済学や経営学で用いられる共通言語、また分析道具としての数学の基礎の修得。		
授業到達目標 / Goal	関数および微分の基礎的概念や計算方法について理解するとともに、簡単な経済的問題への応用を可能とすることを目標として掲げる。		
授業方法(学習指導法) / Method	テキストに沿って講義形式で行う。		
授業内容 / Class outline / Con	主として微分法およびその応用(最適化問題)について講義を行う。なお科目の性格上、各自による復習(練習問題を使った反復練習など)が必須である。		
キーワード / Key word	経済数学、関数、微分、最適化		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 藤田渉・福澤勝彦・秋本耕二・中村博和(編)『経済数学』勁草書房、2000年。 参考書: A. C. チャン・K. ウェインライト(著)(小田正雄・高森寛・森崎初男・森平爽一郎(訳))『現代経済学の数学基礎(上)』シーエーピー出版、2010年。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	中間試験50%、期末試験50%とする。ただし、いずれかの試験を受験しなかった場合は失格とする。		
受講要件(履修条件) / Requirements	特になし(高校における数学以上の基礎があれば十分に着手可能である)。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション(本講義の目的、なぜ「経済学部」で「数学」を学習するのか?) 基本的事項(利子計算)		
第2回	基本的事項(現在価値計算)		
第3回	基本的事項(指数関数)		
第4回	基本的事項(対数関数)		
第5回	1変数関数の微分(1変数関数の微分)		
第6回	1変数関数の微分(導関数を求める公式)		
第7回	1変数関数の微分(合成関数と逆関数の導関数、指数関数と対数関数の微分)		
第8回	1変数関数の微分(高階の導関数、関数の極値)		
第9回	中間総括(中間試験)など		
第10回	多変数関数の微分(多変数関数、偏微分)		
第11回	多変数関数の微分(全微分、陰関数の微分)		
第12回	多変数関数の微分(2変数関数の合成関数の微分)		
第13回	最適化問題(制約条件なし)		
第14回	最適化問題(制約条件あり)		
第15回	総括		
第16回	定期試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20151517001501	科目番号 / Subject code	15170015
科目ナンバリングコード / Numbering Code	ECMC 11501_036		
授業科目名 / Subject	金融概論 / Introduction to Finance		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	須齋 正幸 / Susai Masayuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	須齋 正幸 / Susai Masayuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	須齋 正幸 / Susai Masayuki, 山田 和郎 / Kazuo Yamada		
科目分類 / Class type	学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 本館 1 2 (講義室)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	msusai@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	東南アジア研究所 3 階		
担当教員TEL / Tel	095-820-6356		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜日 6 時から		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	経済学部のすべての学生に対して、金融分野の基礎知識を教授するとともに、この分野の課題を提示する。将来、ファイナンス分野のコースに進む学生に対しては、基礎科目となり、また他の分野のコースの学生にとっては、経済学部の幅広い分野の中の一つの基礎的素養を提供する科目である。		
授業到達目標 / Goal	金融分野で何を学ぶか、どのように学ぶか、について一定の知識を獲得することを目標とする。		
授業方法(学習指導法) / Method	講義を中心に行う。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	金融市場 金融制度		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	晝間文彦著 『基礎コース 金融論』 新世社		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	期末試験を中心に評価する。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス：2クラス共通		
第2回	金融論における基礎知識		
第3回	日本の金融システム：間接金融		
第4回	日本の金融システム：公的機関の役割		
第5回	金融機関の機能：金融仲介機関とは		
第6回	金融機関の機能：仲介機能とその他の機能		
第7回	金融市場：短期・中期・長期		
第8回	利子率と資産価格：利子率の決め方		
第9回	利子率と資産価格：利子率と市場		
第10回	デリバティブ：その役割と機能		
第11回	家計の金融行動：貯蓄と消費		
第12回	企業の金融行動：資金の運用と調達		
第13回	金融政策：中央銀行の役割		
第14回	金融政策：金融政策の実際		
第15回	決済システム：信用秩序の意味		
第16回	期末試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20151517001502	科目番号 / Subject code	15170015
科目ナンバリングコード / Numbering Code	ECMC 11501_036		
授業科目名 / Subject	金融概論 / Introduction to Finance		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山田 和郎 / Kazuo Yamada		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山田 和郎 / Kazuo Yamada		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山田 和郎 / Kazuo Yamada, 須齋 正幸 / Susai Masayuki		
科目分類 / Class type	学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 本館 2 2 (講義室)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	k-yamada@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	東南アジア研究所2F		
担当教員オフィスアワー / Office hours	平日9:00-11:30と12:30-19:00(ただし授業時間を除く)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	入門レベルの金融論を講義します。2年次以降の経済学部での専門科目、特にファイナンスコースの授業への備えとなります。		
授業到達目標 / Goal	金融が、消費者や企業の活動に、どのような機能を果たしているかを説明できるようになる。		
授業方法(学習指導法) / Method	講義形式		
授業内容 / Class outline/Con	今後学習する金融関連の授業に必要な基礎知識の習得が目的です。		
キーワード / Key word	金融市場, 金融機関		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	晝間文彦『金融論』新世社		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	最終試験...100%		
学生へのメッセージ / Message for students	金融系科目の基礎的な知識を修得することを目的とします。分からない箇所などは早めに質問に来るなどして解決してください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス		
第2回	貨幣と金融		
第3回	貨幣と金融		
第4回	日本の金融システム		
第5回	日本の金融システム		
第6回	金融機関の機能と証券化		
第7回	金融機関の機能と証券化		
第8回	金融市場		
第9回	利子率と資産価格		
第10回	金融派生商品		
第11回	家計の金融行動		

第12回	企業の金融行動
第13回	金融政策
第14回	決済システムと信用秩序の維持
第15回	フィードバック
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20151517001701	科目番号 / Subject code	15170017
科目ナンバリングコード / Numbering Code	ECMC 11601_039		
授業科目名 / Subject	経営概論 / Introduction to Management		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉田 高文 / Yoshida Takafumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉田 高文 / Yoshida Takafumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉田 高文 / Yoshida Takafumi, 中西 善信 / Yoshinobu Nakanishi		
科目分類 / Class type	学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 本館 1 2 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	1年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	taka-yo@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	本館525		
担当教員TEL / Tel	095-820-6348		
担当教員オフィスアワー / Office hours	前期金曜日12時30分から14時、後期水曜日18時30分から19時30分		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	企業経営に関する身近な話題をとりいれながら、企業活動や組織運営の基礎理論を学ぶとともに、企業活動の背景にある基本的な「経営原理」への理解を図る。		
授業到達目標 / Goal	この授業では、さまざまな企業活動がどのようにして生じ、それがなぜ必要とされるのかなどを考えていくための題材や考え方が示される。受講生はこの学習に基づき、企業経営に関する疑問点や問題点を発見・整理し、これを解いていく力を身につけていくことができる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	必要に応じ、プリント、教材提示装置などを利用して、講義形式で行う。		
授業内容 / Class outline / Con	<p>(吉田高担当分)</p> <p>第1回 会社の設立</p> <p>第2回 事業機会と経営戦略</p> <p>第3回 生産システムとその管理</p> <p>第4回 キャッシュフローの管理</p> <p>第5回 経営情報の利用</p> <p>第6回 経営事例 (その1)</p> <p>第7回 経営事例 (その2)</p> <p>(中西担当分)</p> <p>第8回 会社の役割と機能 (社会における会社の役割、企業とNPOの違い)</p> <p>第9回 コーポレートガバナンス (株式会社のしくみ、所有と経営の分離、コーポレートガバナンス改革)</p> <p>第10回 組織形態 (職能別組織、事業部制)</p> <p>第11回 組織間関係 (企業グループ、サプライチェーン、戦略的提携)</p> <p>第12回 組織構造と職務設計 (分業と調整、集権と分権、ピラミッドとフラット)</p> <p>第13回 モチベーションとリーダーシップ (動機付けの理論と人を動かすリーダーの役割)</p> <p>第14回 HRM (雇用システム、報酬制度、人材育成)</p> <p>(吉田高・中西担当)</p> <p>第15回 まとめ</p>		
キーワード / Key word	会社, 企業経営, 経営環境		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は使用しない。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	両教員が50点ずつを持ち分とする。 吉田高担当分は、期末試験40点と課題に対する期末報告書 (レポート) 10点とする。 中西担当分は、期末試験35点と、各授業毎に提出する小レポート15点とする。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	なし		
学生へのメッセージ / Message for students	受講生は二人の教員の講義を連続して受ける (どちらか一方の教員の講義のみをうけることのないように)。講義中の私語は認めない。新聞などの最新の報道に関心を持つこと。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20151517001702	科目番号 / Subject code	15170017
科目ナンバリングコード / Numbering Code	ECMC 11601_039		
授業科目名 / Subject	経営概論 / Introduction to Management		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中西 善信 / Yoshinobu Nakanishi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	中西 善信 / Yoshinobu Nakanishi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	中西 善信 / Yoshinobu Nakanishi, 吉田 高文 / Yoshida Takafumi		
科目分類 / Class type	学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 本館 2 2 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	1年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nakanishiy@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	本館6階604		
担当教員オフィスアワー/Office hours	原則として講義後とする。その他必要な場合はメールにてアポを取って下さい。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	企業経営に関する身近な話題をとりいれながら、企業活動や組織運営の基礎理論を学ぶとともに、企業活動の背景にある基本的な「経営原理」への理解を図る。		
授業到達目標/Goal	この授業では、さまざまな企業活動がどのようにして生じ、それがなぜ必要とされるのかなどを考えていくための題材や考え方が示される。受講生はこの学習に基づき、企業経営に関する疑問点や問題点を発見・整理し、これを解いていく力を身につけていくことができる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	必要に応じ、プリント、教材提示装置などを利用しながら、講義形式で行う。		
授業内容/Class outline/Con	(中西担当分) 第1回 会社の役割と機能 (社会における会社の役割、企業とNPOの違い) 第2回 コーポレートガバナンス (株式会社のしくみ、所有と経営の分離、コーポレートガバナンス改革) 第3回 組織形態 (機能別組織、事業部制) 第4回 組織間関係 (企業グループ、サプライチェーン、戦略的提携) 第5回 組織構造と職務設計 (分業と調整、集権と分権、ピラミッドとフラット) 第6回 モチベーションとリーダーシップ (動機付けの理論と人を動かすリーダーの役割) 第7回 HRM (雇用システム、報酬制度、人材育成) (吉田高担当分) 第8回 会社の設立 第9回 事業機会と経営戦略 第10回 生産システムとその管理 第11回 キャッシュフローの管理 第12回 経営情報の利用 第13回 経営事例 (その1) 第14回 経営事例 (その2) (吉田高・中西担当) 第15回 まとめ		
キーワード/Key word	会社, 企業経営, 経営環境		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は使用しない。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	両教員が50点ずつを持ち分とする。 中西担当分は、期末試験35点と、各授業毎に提出する小レポート15点とする。 吉田高担当分は、期末試験40点と課題に対する期末報告書 (レポート) 10点とする。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	なし		
学生へのメッセージ/Message for students	受講生は二人の教員の講義を連続して受ける (どちらか一方の教員の講義のみをうけることのないように)。講義中の私語は認めない。新聞などの最新の報道に関心を持つこと。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20151517001901	科目番号 / Subject code	15170019
科目ナンバリングコード / Numbering Code	ECMC 11101_038		
授業科目名 / Subject	経済概論 / Introduction to Economy		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	福澤 勝彦 / Fukuzawa Katuhiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	福澤 勝彦 / Fukuzawa Katuhiko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	福澤 勝彦 / Fukuzawa Katuhiko, 山口 純哉 / Yamaguchi Junya		
科目分類 / Class type	学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 本館 1 2 (講義室)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kfuku@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	東南アジア研究所 2階福澤研究室		
担当教員TEL / Tel	経済357		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜日1時~3時		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	(福澤) ミクロ経済学を学ぶことで何がわかるかを学ぶとともに、経済学の対象、考え方、論理の進め方の基礎を学ぶ。 (山口) 新聞紙上のマクロ経済にかかる事象について論じるために必要な考え方等を学ぶ。		
授業到達目標 / Goal	(福澤) ミクロ経済学の手法を説明できるようになることを目標とする。 (山口) マクロ経済にかかる事象を理論的に説明できるようになることを目標とする。		
授業方法(学習指導法) / Method	(福澤・山口) 毎回レジュメを配布し、講義形式で進める。		
授業内容 / Class outline / Con	(概要) 経済学部で学ぶために必要なマクロ経済およびミクロ経済の基礎について概説する。 (福澤) 第1回 経済学を学ぶ意味 第2回 経済学の方法と10大原理 第3回 比較優位とは何か 第4回 アイスクリームの需要はどう表されるか? 第5回 アイスクリームの供給はどう表されるか? 第6回 アイスクリームの価格はどうか決まるのか 第7回 価格と資源配分はどのように変化するのか? (山口) 第8回 景気と景気循環1 第9回 景気と景気循環2 第10回 失業、インフレーションとデフレーション 第11回 国際収支と為替レート 第12回 財政政策と金融政策 第13回 政府の役割と財政赤字 第14回 現在のマクロ経済情勢 第15回 まとめ 第16回 試験およびまとめ		
キーワード / Key word	ミクロ経済学、マクロ経済学		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	(福澤) テキスト: マンキュー 『入門経済学』 東洋経済新報社。 (山口) テキスト: 伊藤元重 [2001] 『入門経済学(第2版)』 日本評論社。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	期末試験(100%)。60点以上を合格とする。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20151517001902	科目番号 / Subject code	15170019
科目ナンバリングコード / Numbering Code	ECMC 11101_038		
授業科目名 / Subject	経済概論 / Introduction to Economy		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山口 純哉 / Yamaguchi Junya		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山口 純哉 / Yamaguchi Junya		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山口 純哉 / Yamaguchi Junya, 福澤 勝彦 / Fukuzawa Katuhiko		
科目分類 / Class type	学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 本館 2 2 (講義室)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	junya-y@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	東南アジア研究所215号室		
担当教員TEL / Tel	095-820-6326		
担当教員オフィスアワー / Office hours	毎週木曜日12:00-13:00		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	マクロおよびミクロ経済学の基礎的知識を身につける。		
授業到達目標 / Goal	(山口) マクロ経済にかかる事象を理論的に説明できるようになることを目標とする。 (福澤) ミクロ経済学の手法を説明できるようになることを目標とする。		
授業方法 (学習指導法) / Method	(山口・福澤) 毎回レジュメを配布し、講義形式で進める。		
授業内容 / Class outline / Con	(概要) 経済学部で学ぶために必要なマクロ経済およびミクロ経済の基礎について概説する。 (山口) 第1回 景気と景気循環1 第2回 景気と景気循環2 第3回 失業、インフレーションとデフレーション 第4回 国際収支と為替レート 第5回 財政政策と金融政策 第6回 政府の役割と財政赤字 第7回 現在のマクロ経済情勢 (福澤) 第8回 経済学を学ぶ意味 第9回 経済学の方法と10大原理 第10回 比較優位とは何か 第11回 アイスクリームの需要はどう表されるか？ 第12回 アイスクリームの供給はどう表されるか？ 第13回 アイスクリームの価格はどう決まるのか 第14回 価格と資源配分はどのように変化するのか？ 第15回 まとめ 第16回 講義総括 (試験を含む)		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	(福澤) テキスト : マンキュー 『入門経済学』 東洋経済新報社。 (山口) テキスト : 伊藤元重 『入門経済学 (第3版) 』 日本評論社。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	期末試験 (100%) 。 60点以上を合格とする。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20151517002101	科目番号 / Subject code	15170021
科目ナンバリングコード / Numbering Code	ECMC 11201_036		
授業科目名 / Subject	法学概論 / Introduction to Law		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉田 省三 / Yoshida Shozo		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉田 省三 / Yoshida Shozo		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	吉田 省三 / Yoshida Shozo, 笹川 篤史 / Sasagawa Atsushi		
科目分類 / Class type	学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 本館 1 2 (講義室)		
対象学生(クラス等) / Object Student	1年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yosida-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	経済学部本館512		
担当教員TEL/Tel	095-820-6397		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜10,00-12,00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>【吉田】 競争政策・独占禁止法を素材として、法と経済社会に関する現代的課題についての理解を深める。</p> <p>【笹川】 租税法、行政法、労働法、消費者法といった経済活動を関係の深い法律について講義する。</p> <p>導入科目として、法律・判例の学び方・調べ方を学ぶ。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>【吉田】 独占禁止法・競争政策および政府規制の基礎的概念を理解し操作できるようにする。</p> <p>【笹川】 経済活動と関係の深い法律についての基本的事項、法律を学ぶ意義について理解し、概要を説明できるようになる。</p>		
授業方法(学習指導法)/Method	<p>授業は2クラス編成で行われ「前半」に吉田担当分を受講するクラスと笹川担当分を受講するクラスに分かれる。</p> <p>「後半」は担当する教員が入れ替わる形式で行われる。このとき受講生は教室を移動しない。</p> <p>【吉田】 配布資料等による講義。特定の教科書は使用しない。</p> <p>【笹川】 教科書、LACS掲載資料、配布資料による講義。クリッカー、必携PCを利用する場合あり。</p>		
授業内容/Class outline/Con	<p>【吉田】 規制改革、競争市場の構築、独占禁止法の措置体系の見直しなどのテーマについて講義する。</p> <p>第1回 「自首」(課徴金減免)制度で、独禁法は変わったのか? - 2005・2009年独禁法改正</p> <p>第2回 「規制緩和」、新自由主義構造改革は、消費者の利益となったか?</p> <p>第3回 独占禁止法と憲法 - 経済活動と人権</p> <p>第4回 経済法と刑法 - 企業の非行防止と刑事罰</p> <p>第5回 談合と独占禁止法 - 「総合評価」は入札改革の切り札となるか?</p> <p>第6回 コンビニ商法と「優越的地位の濫用」 - 不公正な資本主義と独禁法</p> <p>第7回 日本の経済法の歴史 - まとめにかえて</p> <p>【笹川】 税法を中心に経済活動と関連のある法律を扱う。</p> <p>(外部講師による特別講義により、一部変更となる可能性がある。金曜日5校時に補講を行う予定あり。)</p> <p>第8回 インTRODククション</p> <p>第9回 税制と財政</p> <p>第10回 所得税法</p> <p>第11回 労働法</p> <p>第12回 消費税法、法人税法、行政法</p> <p>第13回 消費者法</p> <p>第14回 授業の総括(試験を含む)</p> <p>第15回 まとめ</p>		

<p>教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book</p>	<p>【吉田】 教科書:使用しない。 参考(番号は講義の回と対応)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本経済法学会『独占禁止法改正』有斐閣、2005. 2. 二宮厚美『新自由主義の破局と決着』新日本出版社、2009 3. 岡田与好『経済的自由主義』東大出版。 4. 中山研一『経済刑法入門』成文堂、2004。 5. 鈴木満『入札談合の研究 - その実態と防止策』信山社、2001. 6. 『経済』特集・コンビニの社会経済学・2010年3月、pp. 101-139. 7. 高瀬雅男「独占規制法制の変容と法」『法律時報増刊・改憲・改革と法』2008. <p>【笹川】教科書：関子善信『税法概論十二訂版』を予定。 参考書：『ビジネス法入門』、『ゼロからはじめる法学入門』、『エコノリーガル・スタディーズのすすめ』、『法律を読むセンスの磨き方・伸ばし方』、『税務判決・裁決例の読み方』、『リーガル・リサーチ&レポート』、『法学入門』、『ベーシック租税法』</p>
<p>成績評価の方法・基準等/Evaluation</p>	<p>両教員が50点ずつを持ち分とする。 【吉田】定期試験による(100%) 【笹川】授業中に実施するテスト(教科書持ち込み可)、LACSによるテスト、課題提出を総合評価する。(期末試験は実施しない。)</p>
<p>受講要件(履修条件)/Requirements</p>	<p>【笹川】高校で「現代社会」または「政治経済」を履修した学生は、復習しておくことが望ましい。</p>

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20151517002102	科目番号 / Subject code	15170021
科目ナンバリングコード / Numbering Code	ECMC 11201_036		
授業科目名 / Subject	法学概論 / Introduction to Law		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉田 省三 / Yoshida Shozo		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉田 省三 / Yoshida Shozo		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉田 省三 / Yoshida Shozo, 笹川 篤史 / Sasagawa Atsushi		
科目分類 / Class type	学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 本館 2 2 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	1年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sasagawa@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	経済学部東南アジア研究所318号室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6331		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日午前 (事前にEメールで予約を取ってください。)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>【笹川】 租税法、行政法、労働法、消費者法といった経済活動を関係の深い法律について講義する。 導入科目として、法律・判例の学び方・調べ方を学ぶ。</p> <p>【吉田】 独占禁止法・競争政策を素材として、法と経済社会に関する現代的課題についての理解を深める。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>【笹川】 経済活動と関係の深い法律についての基本的事項、法律を学ぶ意義について理解し、概要を説明できるようになる。</p> <p>【吉田】 独占禁止法・競争政策および政府規制の基礎的概念を理解し操作できるようにする。</p>		
授業方法 (学習指導法) /Method	<p>授業は2クラス編成で行われ「前半」に吉田担当分を受講するクラスと笹川担当分を受講するクラスに分かれる。</p> <p>「後半」は担当する教員が入れ替わる形式で行われる。このとき受講生は教室を移動しない。</p> <p>【笹川】 教科書、LACS掲載資料、配布資料による講義。クリッカー、必携PCを利用する場合あり。</p> <p>【吉田】 配布資料等による講義。特定の教科書は使用しない。</p>		
授業内容/Class outline/Con	<p>授業内容 (概要)</p> <p>【笹川】 税法を中心に経済活動と関連のある法律を扱う。 (外部講師による特別講義により、一部変更となる可能性がある。金曜日5校時に補講を行う予定あり。)</p> <p>第1回 インTRODククション 第2回 税制と財政 第3回 所得税法 第4回 労働法 第5回 消費税法、法人税法、行政法 第6回 消費者法 第7回 授業の総括 (試験を含む)</p> <p>【吉田】 競争政策の重要課題 (優越的地位濫用規制等)、独占禁止法の措置体系の見直しなどのテーマについて講義する。</p> <p>第8回 課徴金減免制度 「自首」による効果は？ 第9回 新自由主義構造改革と消費者の利益 第10回 経済法と憲法 経済活動と人権 第11回 経済法と刑法 企業の非行防止と刑事罰 第12回 電力事業者と独占禁止法 電力市場における競争 第13回 「優越的地位の濫用」・下請法 東京電力被疑事件・コンビニ商法 第14回 独占禁止法の国際比較 日本・欧州連合・合州国 第15回 まとめ</p>		
キーワード/Key word	租税法、業法、労働法、消費者法、独占禁止法		

<p>教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book</p>	<p>【笹川】教科書：関子善信『税法概論十二訂版』を予定。 参考書：『ビジネス法入門』、『ゼロからはじめる法学入門』、『エコノリーガル・スタディーズのすすめ』、『法律を読むセンスの磨き方・伸ばし方』、『税務判決・裁判例の読み方』、『法学入門』、『ベーシック租税法』</p> <p>【吉田】 教科書：使用しない。 参考文献（番号は講義の回と対応） 8．日本経済法学会『独占禁止法改正』有斐閣、2005． 9．二宮厚美『新自由主義の破局と決着』新日本出版社、2009 10．岡田与好『経済的自由主義』東大出版、1987． 11．中山研一『経済刑法入門』成文堂、2004． 12．公正取引委員会「電力市場における競争の在り方について」2012年9月． 13．植田忠義『フランチャイズは地域を元気にできるか』新日本出版社、2011． 14．高瀬雅男「独占規制法制の変容と法」『法律時報増刊・改憲・改革と法』2008．</p>
<p>成績評価の方法・基準等/Evaluation</p>	<p>両教員が50点ずつを持ち分とする。 【笹川】授業中に実施するテスト（教科書持ち込み可）、LACSによるテスト、課題提出を総合評価する。（期末試験は実施しない。） 【吉田】定期試験による（100%）</p>
<p>受講要件（履修条件）/Requirements</p>	<p>【笹川】高校で「現代社会」または「政治経済」を履修した学生は、復習しておくことが望ましい。</p>
<p>学生へのメッセージ/Message for students</p>	<p>【笹川】授業時間外に、各自でインターネットを利用した課題作成を行います。</p>

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20151517002301	科目番号 / Subject code	15170023
科目ナンバリングコード / Numbering Code	ECMC 11401_038		
授業科目名 / Subject	国際関係概論(GSR論) / Introduction to International Relations(GSR)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤田 泰昌 / Taisuke Fujita		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤田 泰昌 / Taisuke Fujita		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	藤田 泰昌 / Taisuke Fujita, 須齋 正幸 / Susai Masayuki, 谷口 眞司 / Taniguchi Shinji		
科目分類 / Class type	学部モジュール科目, 自由科目(教養・専門)		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	経済学部講堂		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fujitاتف@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜16:30-17:30		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>国際社会のグローバル化が進んだと言われて久しいが、皆さんは国際社会(特に国外)の現状や課題を把握できているだろうか。国際社会を舞台に働く困難や意義とはどのようなものなのだろうか。今後、社会に出るまでの数年間、どのような問題意識をもって、どのような課題に取り組めば良いのだろうか。</p> <p>こうしたことを考える機会を本講義は提供する。世界の様々な地域や分野で活躍される方々を、公的部門(国際機関や国内省庁)、民間部門(国際的企業)、そして社会的部門(NGOなど)からお招きし、受講生が今後に向けた刺激を受ける機会とする。</p>		
授業到達目標/Goal	国際社会の現状や課題を把握し、受講生自身にとっての今後の展望や課題を明確にする		
授業方法(学習指導法)/Method	講義(外部講師の事情により、以下のスケジュールには変更の可能性があります)		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	GSR、国際社会、国際機関、政府、企業、NGO		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	特になし		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	出席、質問およびリアクション・ペーパー(50%)、期末レポート(50%)		
学生へのメッセージ/Message for students	授業では、臆せずに積極的に質問して下さい		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション: GSR (Global Social Responsibility)とは		
第2回	本講義の内容・目的		
第3回	国際関係の基本的な考え方		
第4回	公的部門からみた国際社会		
第5回	公的部門からみた国際社会		
第6回	公的部門からみた国際社会		
第7回	民間部門からみた国際社会		
第8回	民間部門からみた国際社会		
第9回	民間部門からみた国際社会		
第10回	民間部門からみた国際社会		
第11回	社会的部門からみた国際社会		
第12回	社会的部門からみた国際社会		
第13回	社会的部門からみた国際社会		
第14回	社会的部門からみた国際社会		
第15回	全体のまとめ		
第16回			